

我が県土  
支え育む  
希望郷



# 美しい 県土づくりNEWS

2020年

11月

岩手県 県土整備部

手づくり広報誌第196号

令和2年11月30日発行

編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 (仮称)小倉山4号トンネルの掘削に本格着手しました!
- 3 令和2年度いわての地域づくり道づくりを考える大会を開催
- 5 東日本大震災津波等からの復興と令和3年度政府予算に関する提言・要望を実施!
- 6 地域に定着する人材の確保・育成・定着を目指して!  
管内の道路整備・河川を知ってもらう取組
- 8 女性社員による現場見学会を開催しました  
～いわて女性の活躍促進連携会議けんせつ小町部会の取組～
- 9 「優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を開催しました!
- 10 住民参加型歩道除雪の推進と除雪作業の御協力について

# 三陸復興

## 主要地方道花巻大曲線小倉山の2工区

### (仮称)小倉山4号トンネル安全祈願祭を開催!

西和賀町沢内地区で整備を進めている主要地方道花巻大曲線(仮称)小倉山4号トンネル築造工事が本格的なトンネル掘削を迎えるにあたり、11月12日に工事受注者(佐藤工業(株)・菱和建设(株)・(株)佐藤組特定共同企業体)主催による安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭には、県、花巻市、西和賀町、地元選出県議会議員、工事関係者約80人が出席し、鍬入れ、玉串奉奠等の神事を行った後、県南広域振興局長から「早期完成に向けて、工事に全力で取り組む」旨あいさつを述べ、工事の安全と早期完成を願いました。



▲佐々木県南広域振興局長による挨拶



▲上田花巻市長・細井西和賀町長による鍬入れの儀



▲式典会場の様子



▲神事 切麻散米(きりぬささんまい)

## 【主要地方道花巻大曲線 小倉山の2工区】

### （仮称）小倉山4号トンネルの掘削に本格着手しました！

県南広域振興局土木部花巻土木センター

主要地方道花巻大曲線は、花巻市と西和賀町間の物流や産業振興をはじめ、防災や地域間交流を支える重要な路線です。

しかしながら、中山峠は幅員狭小・急勾配・急カーブが連続し、安全で円滑な通行の妨げとなっており、花巻市と西和賀町の生活圏相互の交流の支障となっていました。

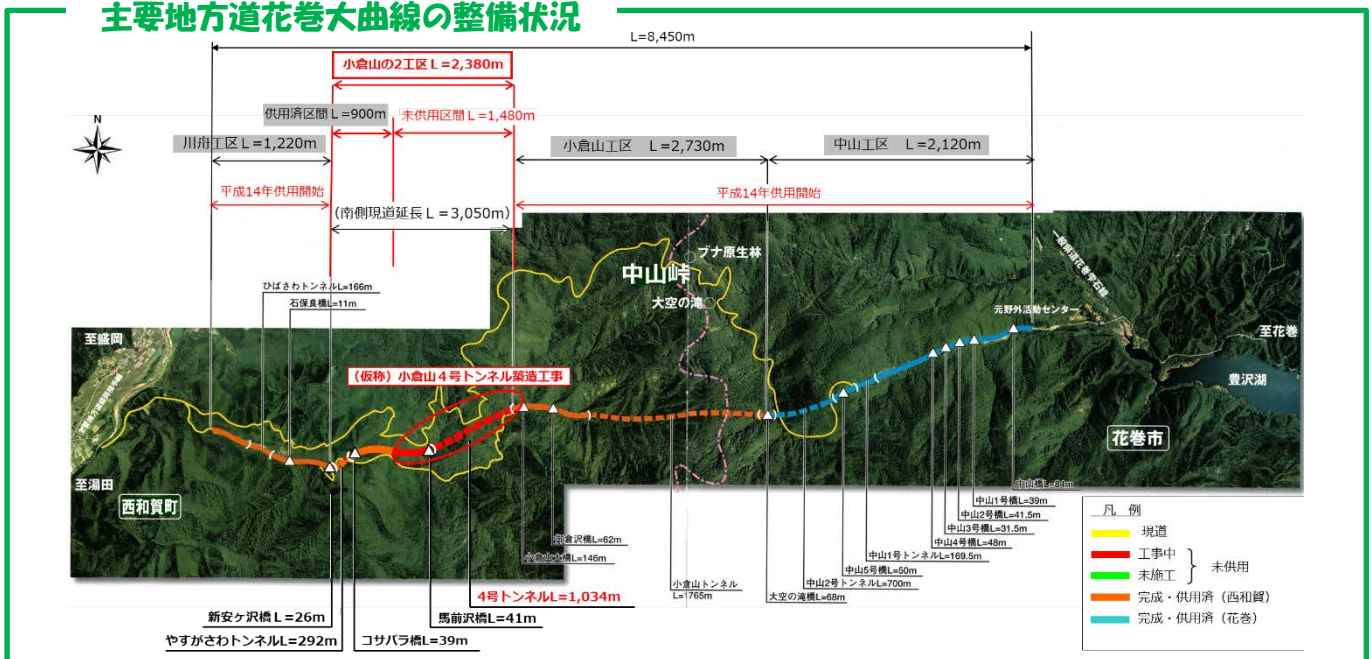
このため、県では昭和61年度から花巻市側、平成7年度からは西和賀町側の道路改良事業に着手し、厳しい気象・地形条件のもと、鋭意事業の推進に努めてきました。

平成14年度には、花巻市側の『中山工区』と『小倉山工区』、西和賀町側の『川舟工区』を供用開始し、同年度に、現在事業を進める『小倉山の2工区』が事業着手しました。

『小倉山の2工区』は、平成19年度に「やすがさわトンネル」と「新安ヶ沢橋」、「コサバラ橋」を含む900mが供用され、令和元年度に「馬前沢橋」が概成、残る構造物は「（仮称）小倉山4号トンネル」のみとなっています。

今月から（仮称）小倉山4号トンネルの本格的な掘削に着手しており、引き続き工事を進めていきます。

#### 主要地方道花巻大曲線の整備状況



#### 小倉山の2工区の事業概要



岩手県道路整備促進期成同盟会主催

令和2年度いわての地域づくり・道づくりを考える大会 開催

道路建設課

令和2年10月29日(木)、花巻温泉ホテル千秋閣にて、岩手県道路整備促進期成同盟会(会長：花巻市長)主催で『いわての地域づくり・道づくりを考える大会』が開催されました。(共催：岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会(会長：知事)、岩手県道路利用者会議(会長：盛岡市長))

大会には、梅野 国土交通省東北地方整備局長をはじめ、多くの来賓に出席いただき、県内の市町村長や県議会議員、関係団体など約270人が出席しました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、マスクの着用・ソーシャルディスタンスの確保等の感染防止対策を徹底したうえ、例年より規模を縮小して開催されました。



令和2年度いわての地域づくり・道づくりを考える大会の様子

上田 花巻市長は主催者挨拶で、『地域住民の暮らしを守り、ポストコロナ時代における地方志向の高まりを踏まえた地方創生のためには、**安定的・持続的な道路予算の確保が必要**である。』と述べました。達増 知事(代読：中平 県土整備部長)は共催代表挨拶で復興道路等の整備に対して関係機関に感謝の意を表し、『**『防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策』**に続き、**令和3年度以降の新たな5か年計画の策定や対象事業の拡充**などを国に働きかけていくことが必要。』と述べました。

また、来賓の方々を代表し、梅野 国土交通省東北地方整備局長、関根 県議会議長(代読：中平 県議会副議長)からそれぞれ祝辞をいただきました。



主催者挨拶 上田 花巻市長



共催代表挨拶 達増 知事(代読：県土整備部長)



来賓祝辞 梅野 国土交通省東北地方整備局長

大会では、「道路を取り巻く最近の話題」と題して、小田原 国土交通省東北地方整備局道路部長から講演を、平井 岩手河川国道事務所長、高松 三陸国道事務所長の2名から事業説明をしていただきました。また、意見発表として共和水産株式会社代表取締役専務の鈴木良太氏、一般社団法人八幡平市観光

協会事務局次長の海藤美香 氏、株式会社道の駅はなまき西南駅長の安藤功一 氏の3名から、それぞれの地域の実情を踏まえた道路整備の重要性や今後の利活用について発表していただき、最後には勝部 一関市長が決議(案)を読み上げ、大会決議が採択されました。



国土交通省東北地方整備局  
小田原 道路部長



国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所  
平井 岩手河川国道事務所長



国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所  
高松 三陸国道事務所長



共和水産株式会社代表取締役専務  
鈴木良太 氏

【テーマ】沿岸の「おいしい」を内陸へ  
【主な発言内容】

- ・ 道路が良くなった。地域を作っていくのは私たち。もっと盛岡（内陸）へアピールしないとイケない。
- ・ 道路で距離（時間）は縮まった。一方で、沿岸と内陸には認知ギャップがある。様々な認識の距離を縮めなければならない。
- ・ 沿岸の誇りである「魚」を岩手県の誇りに。



一般社団法人八幡平市観光協会事務局次長  
海藤美香 氏

【テーマ】世界の誇れる山岳道路の除雪  
【主な発言】

- ・ 八幡平アスピーテライン・八幡平樹海ラインの除雪は世界に誇れる山岳道路の除雪である。
- ・ 台湾の航空会社の会長が除雪現場を見学し、好評。
- ・ 年間の除雪費用は5,000万円～6,000万円に及ぶ。その費用以上の経済効果を出すため、地元や関係者も努力している。



株式会社道の駅はなまき西南駅長  
安藤功一 氏

【テーマ】地域に根差した道の駅を目指して  
【主な発言】

- ・ 道の駅はなまき西南が令和2年8月7日にオープン。
- ・ 道の駅ができたことにより県道13号線の交通量が増加傾向。
- ・ 道路利用者にとって利便性（トイレ・休憩）が増している
- ・ 「立ち寄り場所」だけでなく、「有効利用する場所」に。
- ・ 防災機能も加味した施設である。

大会後には、11月4日（水）及び9日（月）に関係省庁や県選出国會議員を訪問し、**度重なる災害からの速やかな復旧・復興をはじめ、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」につづく対象事業を拡充した5か年計画の策定、一般国道4号の2車線区間の4車線化、宮古盛岡横断道路の指定区間編入、令和3年度当初予算における公共事業関係費の大幅な増額**などを要望しました。

県としては引き続き、国や市町村、関係者の皆様と連携し、安全・安心を支え、産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備に向け、取り組んでいきます。

# 東日本大震災津波等からの復興と令和3年度政府予算に関する提言・要望を実施！

県土整備企画室

11月17日、県では、令和3年度政府予算の編成に向け、「東日本大震災津波等からの復興と令和3年度政府予算に関する提言・要望」を行いました。

今回の要望では、同日、知事から関係省庁に要望した内容のほか、県土整備部長が国土交通省と復興庁の関係省庁と県選出国會議員の方々を訪問し、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の効果事例や二級河川小本川（岩泉町）における「流域治水」の取組、広域連携事業の推進等、県土整備行政における取組を具体的に説明しながら、要望活動を行いました。

東日本大震災津波等からの復旧・復興を着実に進めるとともに、防災・減災対策の推進や県民の生活を支える社会資本を適切に整備・維持していくため、県では、引き続き、国に働きかけていきます。

国土交通大臣  
赤羽 一嘉 様

東日本大震災津波等からの復興と  
令和3年度政府予算に関する  
提言・要望書

令和2年11月17日

岩手県知事 遠増拓也

▲ 国土交通大臣への要望書（表紙）

## 【要望内容】

- 1 東日本大震災津波等からの復興に関する提言・要望
  - 直轄事業の着実な推進
  - 復興事業（ハード事業）完了までの支援の継続
  - 宮古盛岡横断道路の指定区間編入及び全線高規格化
  - 津波対策施設に係る維持管理費等に対する財政措置
  - 被災者の生活再建に対する支援
  - 平成28年台風第10号災害からの公共土木施設等の復旧等及び令和元年東日本台風災害に係る土砂災害対策等における確実な予算措置
- 2 令和3年度政府予算に関する提言・要望
  - 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の延長・拡充等
  - 直轄事業等の推進
  - 高規格幹線道路等の機能強化
  - 災害に強い県土づくりへ向けた防災・減災対策への支援
  - 物流の効率化など生産性向上に資する社会資本整備への支援
  - 観光振興に資する社会資本整備等への支援
  - 暮らしの安全・安心の確保に必要な社会資本整備への支援
  - 快適な生活環境確保に向けた汚水処理施設整備の推進
  - 社会資本の戦略的な維持管理への支援

【地域に定着する人材の確保・育成・定着を目指して!】

管内の道路整備・河川を知ってもらう取組

県南広域振興局土木部一関土木センター

一関土木センターでは、令和元年度に第2回インフラツーリズムを試行するなど、地域の皆様に向けて、管内の土木施設の役割に関する理解を深める取組を行ってきました。今年度は、コロナ禍の折、当初は実施が困難な状況でしたが、9月から11月にかけて、地元の自治会、小学校から高等学校のほか、関係機関等から国道343号(仮)渋民トンネルを始めとして、現場見学の問合せを多くいただき、感染対策に配慮しながら、可能な限り取り組んできました。

今年度は、見学に訪れた学校を卒業した職員による現場紹介や、インターンシップと合同で見学会を開催するなど、新たな工夫により、参加者の記憶に残る見学会を目指して取り組みました。

一般国道343号 渋民トンネル築造工事 (復興支援道路：渋民バイパス)



大原中学校2学年の皆さん

9月2日に、地元、大原中学校の2年生、20名の現場見学会を開催しました。トンネル工事は、覆工コンクリート工が完了しており、トンネル内部は完成に近い状態でした。

生徒の皆さんには、トンネル内を歩いてもらい、壁面をプロジェクターのスクリーンにして、動画、クイズ等を交えながら、トンネルが完成するまでの流れを説明しました。

中学校の生徒の皆さんには、とても真剣に説明を聞いていただきました。

後日、生徒の皆さんから、模造紙で作られた感謝状をいただき、対応した職員も感動していました。



令和2年10月6日(火)

左から花巻農業高等学校・一関工業高等学校(インターンシップ)の皆さん、藤井総括主査(花農OB)

10月6日に、花巻農業高等学校(1年生、9名)の現場見学会と一関工業高等学校(2年生、3名)のインターンシップを合同で開催しました。

同じ土木系の生徒でも、学年によって興味を示すところや質問の内容に違いがあり、お互い良い刺激を受けているようでした。

また、花巻農業高等学校の卒業生である藤井総括主査からは、過去の経験をもとに、後輩へ在学中にやっておくべき事を熱くアドバイスする場面も見られました。

生徒の皆さんも熱い眼差しで、質問等に答えていました。



一般国道 284 号 石法華工区道路築造工事 (復興支援道路)



一関工業高等学校の皆さんと野澤技師(一関工OB)

9月23日に一関工業高等学校の2年生、31名の見学会を開催しました。

見学会の最後に、先輩OBとして、入庁2年目の道路河川環境課の野澤技師から、社会人としての心得についてアドバイスをしました。年齢も近く、引率の先生が当時の恩師であったことなど、場の雰囲気も盛り上がる中で、仕事において相手に正確に気持ちを伝えることの大切さと、県職員の心構えを話しました。



石法華地区の自治会による見学会(約80名)

11月1日に石法華地区の3つの自治会が参加する合同の見学会を開催しました。

総勢80名の参加があり、今年度の見学会の中で最大規模の参加数となりました。

「舗装前のバイパスを、みんなで歩きたい」との希望で開催した見学会でしたが、受注者の皆さんも、重機の試乗やドローンの実演、工事現場クイズなど、内容も豊富で、老若男女に好評な見学会となりました。

一級河川吸川 吸川放水路をPR!

道路河川環境課・河川砂防チームでは、一関地区まちづくり推進協議会主催の防災・減災研修会(R2.9.30開催)において、県が管理する「吸川放水路」の説明及び見学を行いました。参加された約20名の市民の方々からは多くの質問が出され、日頃から吸川放水路が果たしている治水の役割や、防災情報の活用方法などについて理解を深めていただきました。

カスリン・アイオン台風などで受けた水害の歴史が風化しないよう、継続的に治水施設(ハード)やソフト面の情報発信を行い、災害の激甚化に備える「流域治水」の考え方に沿った取組につながるよう、今後も、引き続き関係機関と連携しながら広報活動に力を入れていきたいと考えています。



【写真】防災・減災研修会の当日の様子



# 女性社員による現場見学会を開催しました ～いわて女性の活躍促進連携会議 けんせつ小町部会の取組～

建設技術振興課  
建築住宅課

令和2年11月13日（金）に「けんせつ小町部会」において、県内の建設産業で活躍する女性社員を対象に、平泉の文化遺産ガイダンス施設(仮称)新築工事の現場見学会を開催しました。

当日は、29名の女性社員の方に参加していただき、工事現場の見学、当該現場で働く女性技術者を交えた意見交換会を行いました。

現場見学会では、収蔵庫など、普段なかなか見ることが出来ない施設を見学したほか、文化財を劣化させないための施工上の工夫や、施設の東側に位置する道の駅平泉に合わせた外装とすることなど、文化財に配慮した施工方法等の見学を行いました。

また、意見交換会では、当該施設の施工者である(株)平野組さんから、会社で取り組んでいる女性職員の入職促進に向けた取組を紹介していただき、それらの内容について意見交換を行いました。

参加者からは、「文化財を守るための施設など、今まで見たことが無い現場を見られて良かった」など、好意的な意見が寄せられました。

県では、引き続き、建設産業で働く女性社員の活躍推進に向けた取組を行っていきたいと考えています。

## 【現場見学会等状況】



【現場見学の状況】



【意見交換会の状況】

## 【平泉の文化遺産ガイダンス施設(仮称)】



完成イメージ 東側（道の駅側）

### 【工事概要】

- 用途：博物館
- 規模：RC造 地上2階
- 延床面積：2,422.94 m<sup>2</sup>
- 建築面積：2,679.96 m<sup>2</sup>
- 最高高さ：GL+9.92m
- 建築工事一式、外構工事一式、  
電気設備工事一式、  
機械設備工事一式



## 「優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を開催しました！

建設技術振興課

令和2年11月19日、「第28回優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を盛岡市のプラザおでってにて開催しました。

この表彰は、優れた建設現場従事者を広く表彰することにより、「ものづくり」に携わっている者の誇りと意欲を増進させ、これらの方々の能力と資質の向上を図るとともに、その社会的評価・地位の向上を図り、**建設業の健全な発展に資することを目的として**、平成5年度から開催しているものです。

今年度の受賞者は5名で、表彰式では菊池副知事から表彰状と徽章が授与されました。

### 【受賞者一覧】

受賞者名	所属会社	所在地
石川 靖	大宝商事(株)	一関市
大川原 勝幸	(株)佐武建設	陸前高田市
小出 善則	(株)タカヤ	盛岡市
後藤 邦之	(株)興和電設	盛岡市
高橋 裕司	(株)小田島組	北上市



# ～住民参加型歩道除雪の推進について～

道路環境課

道路を常に安心・安全で使いやすい状態に保つためには、草刈り、清掃、除雪、施設の修理等の**日常の維持管理が欠かせません。**

県では、平成16年度から住民参加型の**歩道除雪**を実施しており、今年度も県管理道路の歩道除雪に御協力頂ける方（団体、個人）を募集しています。

**県民の皆様の御協力をお待ちしています。**

歩道除雪に御協力頂ける団体には、

- 歩道除雪機械（ハンドガイド）を無償でお貸しします（数に限りがあります）。
- ハンドガイド運転にかかる**燃料**を支給します。
- **除雪機械貸出し時に操作方法を説明**します。
- 道路上の作業となることから、道路使用許可申請を最寄りの警察署へ提出していただきます（**手続費用は掛かりません**）。
- もしものための保険代は、**県が負担**いたします。
- 作業に使用するヘルメット、安全チョッキはお貸しします。
- 除雪作業に伴う**労務費等の支払いはありません**。

## ～除雪作業への御協力のお願い～

県では、冬期間の**安全で円滑な道路交通**を確保するため、**県が管理している道路の除雪作業**を行っています。

**除雪作業をスムーズに行えるよう県民の皆様の御協力をお願いします。**

### 門口除雪に御協力を！

各商店・各家庭から道路へ出る門口に寄せられた雪については、各家庭・御近所等による除雪をお願いします。

### 道路への雪出しはやめましょう！

道路への雪出しは、**路面凍結**の原因となるほか、路面が凸凹になり非常に危険で、**交通事故**や**渋滞**の原因にもなります。

### 深夜・早朝作業にご理解を！

除雪作業は、朝の通勤・通学に間に合うよう、主に交通量の少ない夜間や早朝に行います。作業中は騒音・振動等で御迷惑をおかけしますが、御理解くださるようお願いいたします。

### 路上駐車はやめましょう！

路上駐車は、**除雪作業の妨げ**となります。また、**車の乗り入れ板**や**看板等**も除雪作業の障害となり、危険です。

### 【岩手県道路情報提供サービス】

県内の**路面状況の画像**及び**積雪情報**を配信

PC向け：<http://www.douro.com/>

スマホ向け：<http://www.douro.com/sp/>

【お問合せ先】 最寄りの広域振興局土木部、土木センター  
もしくは 岩手県 県土整備部 道路環境課  
TEL019-629-5880 FAX019-629-9124 E-mail:AG0004@pref.iwate.jp

